



代表取締役社長 渡部 嘉之

大手非鉄金属メーカーや大手電子部品メーカーに勤め、30年以上にわたってセラミックを用いた圧電デバイスの開発に携わる。そのなかで培った技術とノウハウを活かすべく、2014年の独立後は技術コンサルタントとして国内外の製造業者の技術支援を行い、2016年にオーツェイド(株)を設立。現在はセラミックを用いたハイレゾ対応イヤホンの開発に注力している。

セラミックを活かした最新技術で世界の音楽シーンに革命を起こす

セラミックを用いた商品の開発・研究を技術的な面からサポートするオーツェイド(株)。この道一筋で歩んできた渡部社長が今最も力を注ぐのが、セラミックの性能を活かしたハイレゾ対応イヤホンの開発だ。ミュージシャンの鶴久政治さんも驚く、技術の先端に迫った。

30年のノウハウを技術支援に活かす

鶴久 渡部社長は、もう四半世紀以上もセラミックを扱っておられるそうですね。
 渡部 ええ。かつて勤めていた大手非鉄金属メーカーや大手電子部品メーカーでは、ともに技術職として様々な商品の研究開発に携わりました。2000年には世界初となる積層型圧電スピーカーの開発・事業化にプロジェクトリーダーとして参画し、メディアからも大きく取り上げて頂きました。

鶴久 なるほど。その経験と実績を以て独立されたと。

渡部 もともと技術者として誰もやっていないことを東縛なくやってみたいという気持ちもあったので、思い切って会社

を立ち上げることにしたんです。現在は、私自身が培ってきた技術やノウハウを企業様の商品開発・研究に役立てる、技術支援事業を主に手がけています。嬉しいことに、すでに国内外の様々な分野の企業様からお声がけ頂いています。

鶴久 その中で、社長が特に力を入れていらっしゃるお仕事はありますか？

渡部 これは前職の会社から再びお声がけ頂いたことがきっかけで携わった技術なのですが、圧電セラミックスを用いたハイレゾ対応イヤホンの開発とその支援——この仕事に、今は心血を注いでいます。特許も出願中の独自技術を組み込んだ手作り試作品ですが、自信作ですので、ぜひ音楽のプロである鶴久さんにも試して頂きたいです。

これまでの音楽体験を覆す衝撃の音質

鶴久 セラミックを使ったイヤホンなんて初めてお目にかかりました。こちらこそ、ぜひ音を聴かせてください。

渡部 既製品と聴き比べをすれば、すぐに違いがお分かり頂けると思います。

鶴久 ——これは…、もう音色からまったく違いますね。そもそも異なる音源を聴いているのではないかと疑ってしまうほどです。一つひとつの楽器の音がとてもクリアで、臨場感があり、それでいて柔らかい。いったい、どんな仕組みになっているのですか？

渡部 人の耳は20kHzの音までしか聞き取ることができないと言われており、CDなどの音楽音源では20kHz以上の音はカットされていました。その常識を覆し、それ以上の高い周波数の音までしっかり収録しているのがハイレゾ音源。そして、魚群探知機や軍事用ソナーといった超音波センサーに用いられることもある圧電セラミックスは、人が実際に聞き取れない高周波数の音も正確に再現することができるため、ハイレゾ対応のイヤホンと非常に相性が良い、というわけです。

鶴久 セラミックの特性を、最大限に活かしていらっしゃるんですね。人の耳に聞こえないとはいえ、そういった高Hzの音は現実の空間にはいくらでもあるはず。そこまでしっかり再現するからこそ、今までにない臨場感を生み出すことができるのでしょうか。



渡部 おっしゃるとおりです。ハイレゾ音源をこのイヤホンで再生すれば、きっと未知の音楽体験を味わって頂けると確信しています。そして今は大手メーカーさんの開発支援にも携わっているので、これからも引き続き、理想の製品を追い求めていきたいですね。

鶴久 市場に出れば、音楽マニア垂涎の商品になること間違いなしですね！

渡部 もちろん、音質にこだわる方に満足して頂けるイヤホンをつくるというのも大切なことですが、私の夢は、圧電セラミックという旧態依然としたデバイスで全く新しいアコースティックの世界を構築すること。そもそも携帯電話の中にこの技術を組み込んでしまうというのが、私のみならず、多くのセラミックエンジニアの目標なのです。まずは近い将来、必ずやこの技術を広く市民権を獲得したイヤホンに成長させたいと思います。

音とセラミック、無限の可能性

鶴久 ここまでお話を伺う中で、御社の技術はイヤホン以外の様々なものにも活用できそうだと感じました。

渡部 ありがとうございます。実際、セラミックを用いた新しい補聴器の開発依頼を頂くなど、イヤホンとは別に動いている案件もいくつかあります。音に関しては、セラミックが活用できるものは全て手がけていくつもりですよ。

鶴久 まさに無限の可能性。御社の今後ますますの飛躍が、心から楽しみです。

渡部 技術者は1人では何もできませんから、アイデアを実現する仲間が必要。会社そのものを大きくするという考えはありませんが、パートナー企業にとってなくてはならないスペシャリスト集団として、“コア”のような存在になればと思っています。



Guest Comment>>

鶴久 政治 (ミュージシャン)

対談中に聴かせて頂いたイヤホンの音は本当に未知の体験で、衝撃を受けました。こういったものが開発されると、ミュージシャンも「もっと色んなことができるのではないかと」より高い意識を持ってCDや音源を作るようになるもの。社長の発明が、音楽シーンの新たな扉を開くかもしれませんね。私も1人の音楽人として、期待しています。

